

本山だより

「今こそお念仏——つなごうふれあいの輪」

アクセスマップ



真宗興正派本山興正寺全景

真宗興正派 本山興正寺

〒600-8261 京都市下京区堀川通七条上ル
TEL 075-371-0075(代) FAX 075-371-8509

本山興正寺

検索

第57号

令和2年
3月

春の法要

一昨年の地震・台風被害により、御影堂をはじめ境内の各所への立ち入りが制限されている状況が続いております。

本年の春の法要もすべての座を阿弥陀堂にて厳修いたします。皆様には大変ご迷惑とご不便をおかけいたしますが、どうぞお参りください。

4月22日(水)

- 8時 晨朝勤行
- 11時 釈尊御誕生会法要
ご門主ご親教
御堂法話
- 14時 宗祖親鸞聖人御誕生会法要
御堂法話

4月23日(木)

- 8時 晨朝勤行
- 11時 釈尊御誕生会法要
御堂法話
- 14時 宗祖親鸞聖人御誕生会法要
御堂法話

御堂法話

布教使
香川県 正蓮寺

綾 浄 慎

▶平成7年、幼い沙弥香さまを抱いて。



興正寺第三十世 本賢上人を偲んで

大正、昭和、平成、令和。
激動の時代をお金仏と共に
歩まれた前ご門主様。

令和元年12月16日夜、興正寺第30世本賢上人、華園真準前ご門主が満94歳（行年95歳）にてご遷化されました。院号は生前よりご自身で考えておられた「一心帰命院」。

前ご門主は大正14年興正寺第29世本昭上人のご子息として生まれ、大谷大学では日本仏教史を学ばれ、昭和20年に得度、僧侶の道を歩みはじめられました。

嗣法時代の昭和42年5月から昭和47年10月までは親鸞聖人生誕800年・立教開宗750年慶讃法要に向け、特別教化団団長として全国の教区を訪問され、先頭に立って念仏復興を呼び掛けられました。

昭和50年1月、第29世本昭上人のご遷化により第30世門主に就任。

昭和54年10月から昭和60年7月までは全国の興正派寺院を総巡化されるなど精力的に教化活動にご尽力されました。



▲全国の派内寺院を総巡化

時代は平成に移り、平成13年4月、伝灯奉告法要が盛大に厳修され、26年間守り続けてきた法灯を第31世本願上人に引継ぎ、ご門主を退任されました。



▲平成13年、伝灯奉告法要で現ご門主と一緒に

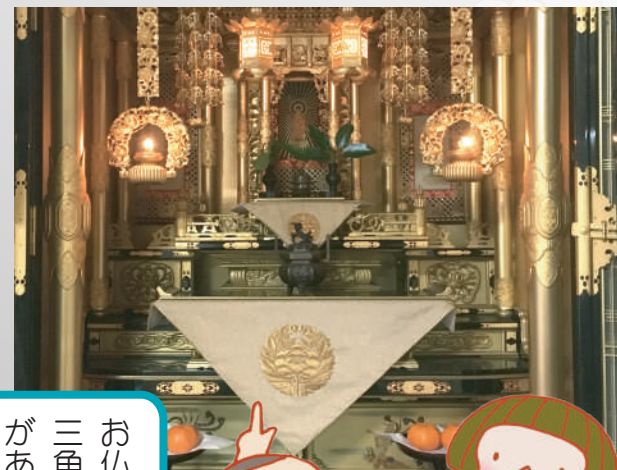
退任後も本山の法要に出勤され派内僧侶・門信徒の皆様にお元気な姿を見せてくださいました。近年のご門主、沙弥香様と3代にわたって出勤される姿は興隆正法の願いが時代を超えて継承されていく様子を表しているようでした。

親しみやすい人柄で多くの人に慕われ、幅広い人の繋がりを大切にされたお姿を通して、お念仏のみ教えをお示しくださったご生涯でした。



▲御影堂にて沙弥香様と共に報恩講にご出仕

教えて、テンマくん!



お仏壇の中にある綺麗な
三角の布ってどんな意味
があるんやろか?



エントンくん

お寺の本堂でも行事の
時には掛けられている
のを見るわ。

ケオンちゃん



テンマくん

^{うちしき}打敷のことだね。^{くもつ}お供物を供える時にだけ敷くものなんだ。
お釈迦様のお席に弟子たちが
美しい布を敷いたのが始まりだ
と言われてるよ。だから、汚れ
ていたり破れているものはふさ
わしくないよね。

ちなみに葬式や中陰期間中
は銀地の打敷や、裏返して白い
面を使うんだよ。